

平成 30 年 10 月 22 日

第 4 回研修会・役員会・代表理事会

東京都中学校理科教育研究会
会 長 山口 晃弘
(品川区立八潮学園校長)

都中理の方向性

5月の総会で都中理会長になって、次の点に留意して仕事したい、とお話した。主だった役員には水面下で調整を諮ってきたところではあるが、具体的に進めていきたい。今回はたたき台をお示しする。

- ・都中理の活動を理科教員の人とのつながりを広げる場にする。
- ・学ぶことの楽しさを、指導する授業者自身が感じる授業を創造する。
- ・先輩が「教える」のではなく、若手が「教わる」ことを大切にする。
- ・次期学習指導要領の改訂の趣旨に沿った活動を全面に打ち出す。
- ・次の全中理東京大会まであと5年。その準備開始の1年目とする。

①、②のように簡単にできるものはすでに始めているものもある。④以降のものは今年度中にはまとまるといいが、次年度に持ち越して検討するものもある。

- ①・これからの「理科学習指導案」のプロット案
・HP掲載

- ⑤・3部・5委員会の見直し。
・全中理大会5→4分科会を受け、学習指導と学習評価の委員会を合体。
・都中理研究員は観察実験委員会へ。
・編集部の在り方の見直し→事務局？ or 広報部？

- ②・HPの改革。
・過去の情報の充実。「全中理歴代発表者一覧」
・リンク集の充実。「開発された教材」

- ⑥・全中理東京大会 2023Tokyo に向けて。シンボルマーク、キャラクタの公募
・HPで公開し、ネットで投票
・シールや缶バッチの製作

- ③・12/26(水)の午前。博物館連携特別委員会研修会。会場は科博
・12/27(木)都中理冬季研修会。会場は新宿区の西早稲田中学校(予定)。

- ⑦・SNS公式アカウントの開設。
・Twitter、LINE、Facebook、インスタグラム、YouTubeなどの公式アカウントを取得する。
・動いてくれる先生がいないだろうか？

- ④・2/21(木)都中理合同部会委員会
・年度終わりの役員会に、3つの部会と5つの委員会も同時に開催し、人を集める。
・各部・各委員会の1年間の報告。
・文科省教科調査官遠山一郎先生の講演。

- ⑧・都中理夏季研修会
・時期を8月下旬(20日頃)に変更する。
・全中理東京大会 2023Tokyo での実施を見据え、交流型(パネルディスカッション)の研修形式を取り入れる。

【日本原子力学会から】

- ・教育会員の募集のお知らせ（別紙）

【都中理ML（メーリングリスト）の事故】

- ・10/16(火)23:36 「[tcr:4140] Fwd:お願いがありメールさせていただきました。」
- ・10/18(木)21:04 「[tcr:4141] お詫びと削除のお願い
- ・このメールは、教科書の執筆者対象のアンケートが添付されていた。内容の一部は、教科書会社の守秘義務に抵触するおそれがある。

先日 10/16 にアンケートのお願いをメーリングリストで流させてさせていただきましたこのことについて、主旨や内容的がということではなく、アンケートをお願いすること自体、皆さんご自身の情報収集ということにつながり、「都中理会員相互の情報交換」というメーリングリストの趣旨から適切ではなかったと考えます。
お手数をおかけすることになり恐れ入りますが、お送りしたメールの削除をお願いいたします。また、リストを管理されている方にはご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。今後は十分に留意いたしますのでご容赦くださるようお願いいたします。

【内規：全中理大会・関中理大会への発表者の決定方法等】

- 1 発表者決定までの流れ
 - (1) 全中理、関中理との連絡・報告は、担当の副会長が行う。
 - (2) 推薦者は、会長、担当副会長、研究部長、研修部長、担当委員長とする。
 - (3) 決定は、役員会で行う。
 - (4) 上記副会長は、過去の東京都教育研究員や東京の教育21研究開発委員、更に、平成18年度より開始される東京教師道場の発表等を蓄積する。また、発表会にも出席し内容等を把握し優秀なものを推薦する。
 - (5) 研究部長は、全会員から研究発表の希望を調査し、優秀な内容を会員研究発表会で発表させ、その中から推薦する。
 - (6) 研修部長は、各地区の研修・研究内容の情報を収集し、内容の把握に努め、優れたものを推薦する。
 - (7) 分科会発表に関連する各委員長は、情報を収集し、優秀なものを推薦する。
 - (8) 推薦依頼は、担当副会長が10月までに行う。
 - (9) 推薦者は、12月中に担当副会長に報告する。
 - (10) 担当副会長は、12月中に推薦された内容を集約する。
 - (11) 担当副会長は、1月の役員会に提案し、決定する。
 - (12) 担当副会長は、決定した発表者と当該校校長に連絡し、了解を得る。また、発表者の大会紀要等に載せる原稿は、都中理の分科会担当委員長に事前に見せ、確認された後、大会事務局へ送付することと、発表までの指導は当該委員長が行う旨、連絡する。
 - (13) 担当副会長は、大会事務局に発表者名等を報告する。

- ・下線部は見直しをする。

【会長としての会務報告】

- ・9月30日(日) 全中理OB会役員会（行田市） ※台風24号のため中止
- ・10月19日(金) 都中理研究員（検証授業）・葛飾区立新宿中学校
「近視・遠視の眼球と凹レンズ・凸レンズの働き」

【その他】

関中理栃木大会 11月8日(木)、9日(金)宇都宮で開催です。支援と参加をお願いいたします。

関中理「第2分科会 観察実験」
練馬区立開進第四中 上田 尊